

令和3年度第1回大船渡市地域安全推進協議会 議事録

1 開催日時及び場所

○日時 令和3年7月20日(火) 午前10時～11時30分

○場所 大船渡市防災観光交流センター 会議室

2 委員数 20名

3 出席者

○委員 14名

- ・江 刺 由紀子 (気仙地区少年警察ボランティア協会)
- ・山 下 タエ子 (大船渡市社会福祉協議会)
- ・近 藤 均 (大船渡市防犯協会連合会)
- ・佐々木 好子 (大船渡市各種女性団体連絡協議会)
- ・藤 原 り つ (大船渡市更生保護女性の会)
- ・吉 田 祥 (岩手県高等学校長協会気仙支会)
- ・小 石 敦 子 (大船渡市小中学校長会)
- ・伊 藤 英 子 (気仙地区保護司会)
- ・菊 池 まゆみ (大船渡商工会議所)
- ・金 野 裕 子 (大船渡市水産振興連絡会)
- ・阿 部 なつ子 (大船渡市交通指導隊)
- ・小 原 孝 介 (大船渡警察署生活安全課)
- ・菅 原 和 郎 (大船渡警察署交通課)
- ・佐 藤 真 【代理：鈴木恒希】 (大船渡市教育委員会事務局)

○事務局 (大船渡市市民生活部市民環境課) 3名

市民環境課長 伊藤真紀子、課長補佐 佐々木浩久、係長 森友之

4 議事の経過 (協議内容等)

(1) 開 会 佐々木課長補佐の司会により進行。

(2) 会長挨拶 江刺会長より挨拶。

その後、佐々木課長補佐より、今年度新たに委員に委嘱された方々6名を紹介。

(3) 講 話

大船渡警察署交通課の菅原課長と、生活安全課の小原課長が講師となり講話。

「管内における交通事故情勢等について」講師：菅原課長 (資料1～4ページ)

○ 令和2年度における岩手県内の交通死亡事故者数は6月末時点で10名だったが、今年昨日時点で13名となっている。このうち、3名は大船渡警察署管内で発生している。

また、一関警察署管内で3名、千厩警察署管内で2名と県南で8名が死亡している状況である。岩手県内では今年、死亡事故の発生件数は少ない状況であるが、一方、県南地区は死亡事故の発生が多い状況である。県南各警察署においては、

現在、危機感を持って取締りや街頭指導、交通安全教室などを行っている。

- 千葉県において飲酒運転により児童が亡くなるという大変痛ましい事故が起きてしまった。飲酒運転については平成 21 年に厳罰化がなされ、それ以降は飲酒運転の検挙件数は減少傾向にあったが、ここ 5 年ほどはほぼ横ばい状態で、厳罰化しても飲酒運転をする者は一定数いるという状況となっている。警察においても取締り等を強化しているところではあるが、地域、職場、家庭においても飲酒運転は絶対に許さないといった機運を高めていくことが非常に大事である。
- 岩手県内で発生した子どもが被害に遭う交通事故によって、過去 5 年間で 9 名の子どもが亡くなっている。原因としてはシートベルトやチャイルドシートの非着用あるいは正確に着用できていなかったことなどとなっているが、いずれも運転者や子どもの周囲にいる大人に責任があるものと考えられる。普段からシートベルトは必ず装着しなければならない等といったことが家庭内で習慣化がなされていれば、防ぐことができた事故である。
未来がある子どもの死亡事故を防ぐために警察としても各取締り等を強化しているが、地域の皆さんと協力しながら交通事故防止に努めていきたい。

「管内の治安情勢等について」講師：小原課長（資料 5～8 ページ）

- 岩手県内及び大船渡警察署管内での刑法犯認知件数は年々減少傾向にあるものの、大船渡警察署管内での刑法犯認知件数は令和 2 年は 71 件、今年 6 月末時点で 39 件となっており、今年は大船渡市内において侵入窃盗事件が複数発生している。また、わいせつ事件も発生している状況であり、地域住民が安心を感じるという状況には至っていない。
- 大船渡警察署管内では、殺人事件といった重大事件は発生していないが、岩手県内では殺人未遂事件、強盗致傷事件、放火事件といった凶悪犯罪が発生している。このような事件というものはいつどこで発生してもおかしくないという状況である。
- 侵入窃盗件数について、岩手県内及び大船渡警察署管内において減少傾向であったが、今年 6 月末時点で大船渡警察署管内において 9 件発生しており、昨年よりも増加している。ほとんどが空き家を対象とした侵入窃盗事件となっており、全ての事件について犯人は検挙されている。
- 無施錠被害について、年々減少傾向にはあるものの、岩手県は以前から言われているとおり、無施錠率は全国ワースト 1 位となっており、県民の鍵かけに関する意識というのが課題となっている。住宅侵入窃盗において犯人と鉢合わせとなると重大事件に発展する可能性が非常に高いので、鍵かけ意識を高めることが重要である。
- 万引きの被害状況について、岩手県内での検挙率はほぼ横ばいで推移している。刑法犯は減少傾向だが、万引き被害は減少していない。検挙者の半数以上が 65 歳

以上の高齢者となっており、これは大船渡警察署管内においても同様の傾向となっている。

- 特殊詐欺被害の状況について、昨年岩手県内で 54 件、今年は 6 月末で 30 件発生している、大船渡警察署管内では昨年及び今年 6 月末時点で発生していないが、架空請求やフィッシング詐欺に関する相談が多数寄せられている。
- 少年非行等の犯罪について、岩手県内では減少傾向にあり、昨年は岩手県内で刑法犯少年が 124 人となっている。補導件数は平成 28 年には 2,820 人であったが、昨年は 617 人と大幅に減少している。大船渡警察署管内においても平成 28 年には 82 人だったが、令和 2 年は 8 人となっており、減少傾向にある。補導件数が減少した理由としては、以前は高校卒業後の有職少年について補導の対象としていたが、最近の社会情勢の変化に伴い、有職少年の深夜はいかい等は補導の対象外としているためである。少年補導の行為としては、飲酒、喫煙等となっている。今後夏休み時期となることから、深夜はいかいや飲酒、出会い系サイトでの被害が懸念されるので、地域の皆さんの協力が重要となる。
- 子どもや女性に対する声かけ事案について、岩手県内及び大船渡警察署管内の傾向として春季から増加し、夏季にピークを迎えていくという傾向にある。今年、大船渡警察署管内で認知した声かけ事案は 10 件で、行為者の特定は 6 件となっている。
- 皆さんには地域で“ながら見守り”を促進して欲しい。地域全体で見守り活動を積極的に進めていければと思っている。

<質問意見等>

[事務局]

万引きの行為者に 65 歳以上が多いことの主な要因として何があるか。

[小原課長]

犯行動機としては物欲が挙げられる。背景として、高齢者の経済的な要因が考えられる。

(4) 協 議 (防犯パトロールカードの作製・配布について)

ここから江刺会長が議長となり進行。

事務局の森係長より、資料 9～11 ページにより説明。

[事務局]

今年度も防犯パトロールカードを作製し、所属団体の皆様へ配布していただき、地域の防犯意識の高揚を図ることとしたい。今年度は各団体から配布希望枚数を募りたいと考えている。

[江刺会長]

只今、事務局より説明がありましたが、防犯パトロールカードを作製し配布することよろしいか。

[委員からの発言なし]

[江刺会長]

特に異議がなければ、事務局で必要枚数の希望を募り、作製し、委員の皆様へ配布するので、所属団体の方々へ配布していただきたい。その他発言願う。

[近藤委員]

防犯協会の会員が頻繁に入れ替わるので、新たにカードを作製してもらうことはありがたい。

[藤原委員]

「子どもと女性の安全を守る」という表現になっているが、男性は守られないのかと懸念されるがいかがか。

[事務局]

男性の安全を守ることはもちろん、特にも子どもと女性の安全を守るという趣旨からこの表現としている。

[小原委員]

警察の取り組みでも子どもと女性の安全を守るとあるので、この表現で問題はないと考える。

[伊藤委員]

配布枚数に上限はあるか。

[事務局]

各団体の所属会員数を上限としたい。極力希望に沿った枚数を配布したい。

[江刺会長]

配布時期はいつ頃になるか。

[事務局]

配布希望枚数にもよるが、概ね9月から10月にかけて作製し配布したい。希望枚数が多数である場合は、多少ずれ込む。

(5) 情報交換

[江刺会長]

委員の皆さんが所属する団体の活動状況等について情報提供願う。

[教育委員会]

今年度の市内小中学校の夏休み期間中は、交通安全や万引きの防止等のため各学校と学校警察連絡協議会と連携し巡回パトロールを実施することとしている。また、夏休み時期には中学生の自転車事故が多くなるので、学校と保護者には注意喚起をしている。

[吉田委員]

高校では夏休みに入る前に三者面談を実施し、夏休みの過ごし方等を共有している。今年度は昨年に続き、新型コロナウイルスの影響により、生徒の活動は制限されている。高校としては新型コロナウイルス感染が非常に心配なところである。来年入試を控え

る三年生は従来であれば夏休み時期に学校見学等に行っていたが、それもできない状況である。また、部活動も制限しているところである。その中でも生徒はできることを頑張っていると感じる。

[小石委員]

交通安全に関して、末崎小学校の近くに新しい道路が完成予定だが、街灯がない。児童の下校時間帯に不安である。また、ラウンドアバウトで逆走する車両がある。

[事務局]

防犯灯に関しては、本市建設課が要望対応をしているので、相談されたい。

[菅原委員]

ラウンドアバウトは県内でも設置件数が少ない。低速度で走行するため事故の発生件数は多くはないが、通学路なので取締りを引き続き実施していく。

[阿部委員]

通学路で草が生えており、通行に支障が生じている。除草の対応はどこに相談すれば良いか。

[事務局]

相談先としては各道路管理者となるので相談していただきたい。

[藤原委員]

更生保護女性の会では、夏休みや冬休み期間に放課後児童クラブを訪問し、読み聞かせやすいか割り大会等、少しでも子ども達が楽しい時間を過ごせるような活動を行っている。

今年は新型コロナウイルスの影響で活動は制限されているが、できる限り活動したいと考えている。

[山下委員]

社会福祉協議会では、高齢者宅を訪問する活動を行っているが、今日の会議で、万引きの背景として高齢者の経済的な要因もあるということを知り、今後の活動に活かしていきたいと思う。また、子どもの貧困に関して、高校生がボランティアで多く関わっている。今後も活動を広げられたら良いと思う。

[金野委員]

東朋中学校前の一時停止の場所が分かりにくい。新県道が完成すれば車両の流れは変わると思うが、現在は危険に感じる。

[佐々木委員]

赤崎町内では道路工事が行われており、子どもの通学が不安である。

[江刺会長]

赤崎町内は道路工事がピークとなっている。子どもの安全を守るため地域での見守り活動を実施して欲しい。

(6) その他

特になし。

(7) 閉 会

11 時 45 分閉会。